

科目区分	基礎分野	授業科目	教育学
講師名	塩津 英樹	実務経験の有無	無
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次	1年次 第2学期
授業概要 *講師からのメッセージ	教育学と聞いて、皆さんはどのような印象を抱くでしょうか。看護師を目指している皆さんの中には、もしかすると、なぜ教育学を学ぶ必要があるのか疑問を感じている人もいるかもしれません。看護師は、患者さんに対して指導を行う対人関係職です。そのため人間の成長や発達、そして学習に関する知識が求められます。この講義を通して、看護師に求められる教育学の基本的知識を身に付けましょう。		
<p>目的：本講義では、教育の意義と目的、人間の成長と発達、福祉と人権、共生社会の理念等についての学習を通じて人間理解を深め、自分なりの教育観を磨くとともに、高い倫理観を持って人と接し、看護現場で活用することのできる基礎的能力を養うことを目的とする。</p> <p>目標：1. 教育と看護の関係性、教育の意義と目的、人間の成長と発達について説明できる。 2. 福祉と人権、共生社会の理念等について学び、患者理解へと繋げることができる。 3. 教育学の理論と技法を学び、看護現場で活用することができる。</p>			
回	授 業 内 容		
1	教育学とは① -教育学を学ぶ意味-		
2	教育学とは② -教育の目的とは-		
3	教育の意義と本質① -人間の成長と発達-		
4	教育の意義と本質② -人間の道徳性の発達-		
5	倫理と道徳① -人間の行為と道徳-		
6	倫理と道徳② -人間理解について-		
7	福祉と人権① -子供観の歴史的変化と教育-		
8	福祉と人権② -子供の権利を中心に- (演習：グループワークを含む)		
9	教育を支える基盤① -家庭教育と学校教育- (演習：グループワークを含む)		
10	教育を支える基盤② -公教育の成立と展開-		
11	共生社会の実現に向けて① -合理的配慮とは-		
12	共生社会の実現に向けて② -発達障がい者の特性とその理解-		
13	現代社会と教育① -グローバル化と異文化理解-		
14	現代社会と教育② -社会参画と教育- (演習：グループワークを含む)		
15	教育学のまとめ -自己実現と職業生活- (演習：グループワークを含む)		
16	1時間(45分)：終了試験		
授業方法	講義・グループワーク		
評価方法	筆記試験70%、平常点30%、 評価基準参照		
テキスト	特に指定なし。講義で資料を配布する。		
備考	既習関連科目：成人看護学概論、小児看護学概論		